

重点課題テーマについて

- ①地域に根差した特産品の開発と担い手育成・確保
- ②空き家の有効活用

年6回開催

4月24日

6月

8月

10月

12月

(実施予定月)

7年度

課題

現在のアクション

特産品・お土産品の開発が進んでいない

Future Seeds Mochigase
の設立 ラベンダー植付



流しびなの担い手不足と継承体制の構築

・製作ボランティア募集
・民俗文化財調査準備
・雛鳥プロジェクト連携

空き家の有効活用が進んでいない

・空き家調査の実施
・住み継ぎネットワーク
・ショップの開催

有効的な情報発信が出来ていない

・#もちがせつくろう
を使った情報発信
・観光案内マップ制作

次の一手(アイデアの具現化) 検討・展開

・お土産品等開発の具体的な取組推進



・継続的な取組
・民俗文化財調査の開始(令和8年度から10年度の3年間)



・空き家相談体制の拡充検討



・継続的な取組
・マップ設置場所の拡大と情報発信の強化

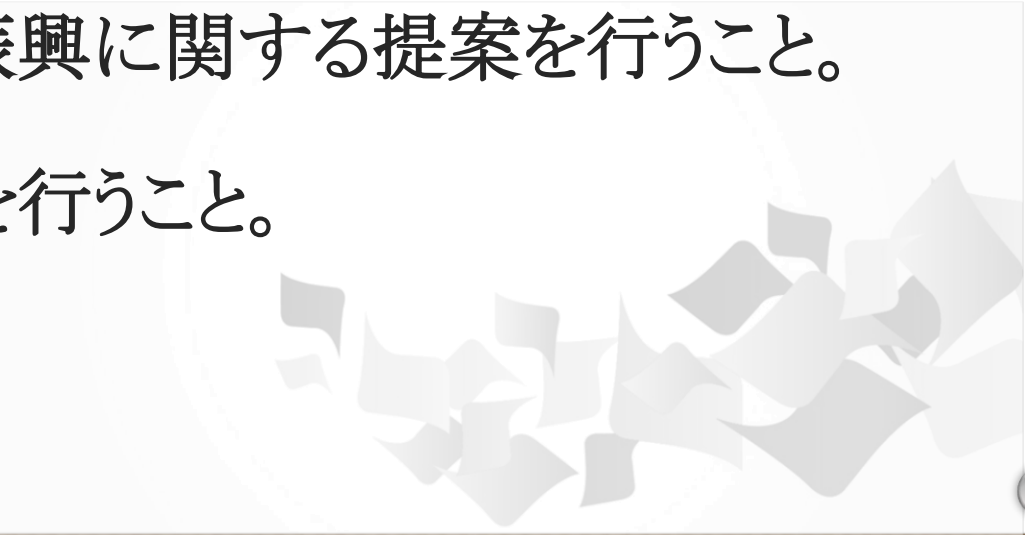


2月

地域振興に関する提案書
作成

用瀬地域振興未来会議

(所掌事務)

- (1) 地域特有の課題や地域振興について調査・研究を行い、解決策について検討すること。
 - (2) 市に対して必要に応じ地域振興に関する提案を行うこと。
 - (3) 地域未来プランの進捗管理を行うこと。
- 

もちがせ地域未来プラン（概要版）

めざす将来像 人と自然と文化が奏でる 安らぎと賑わいを未来へつなぎ 誰もが安心して暮らせるまち もちがせ

清らかな水の流れる千代川や花崗岩からなる峰々が織りなす雄大な自然。四季折々の美しい風景と、人の温かさに触れることができるまち用瀬。この豊かな地域には、「用瀬の流しびな」をはじめとする、古くから伝わる貴重な歴史と文化が息づいています。私たちは、これらの宝物を未来を担う次代へ確実につなぎ、自然豊かなこの地域を愛し、ふるさと用瀬を大切にしたいのあふれるまちを目指します。

また、地域の豊かな資源を交流人口や関係人口の拡大に活用し、各種団体や地域住民と協働して賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、住み慣れた地域でいつまでも生き生きと安心して暮らし続けることのできるまちを目指します。



(1) 安心して暮らし続けることのできる地域の維持

【具体的な実施項目】

① 防災・減災に関する取組

- 地域住民中心の防災・減災活動の支援、防災意識の向上
- 地域や関係機関との連携強化

② 高齢者や障がい者、子育て世代への支援に関する取組

- 地域全体で高齢者や障がい者、子育て世代を支える体制づくり
- 持続可能な生活交通体系の維持・再構築
- 買い物環境の確保



(2) 地場産業の活性化と雇用の確保

【具体的な実施項目】

① 地域に根ざした特産品の開発と担い手育成・確保

- 地域に根ざした特産品の開発等に対する支援
- 農林業の担い手育成・確保や、農産物販路確保等の持続可能な農業・林業の実現に向けた取組支援

② 経営の合理化・効率化の推進

- 集落営農の組織化を推進し、経営の合理化・効率化

③ 鳥獣被害対策と農地・森林保全

- 鳥獣被害対策の強化
- 農地・森林保全



(3) 魅力ある地域づくり・人づくりの推進

【具体的な実施項目】

① 魅力ある地域づくりとそれらを支える人づくり

- まちづくり協議会や自治会、地域団体への活動支援
- 地域の魅力発掘

② 空き家の有効活用

- 空き家実態調査の実施
- 情報提供・発信、利活用促進
- 地域おこし協力隊との連携



③ 歴史・文化の保存と次世代への継承

- 保存・継承
- 伝統文化、行事の年間を通じての情報発信



(4) 交流による活性化と移住定住の推進

【具体的な実施項目】

① 地域の魅力発信と交流促進

- 情報発信と情報アクセス環境の改善強化
- 地域活性化イベントの開催
- 周辺地域との連携

② 移住定住の促進

- 若者が住みたくなるまちへの取組推進
- 関係機関との連携強化
- 移住相談体制の強化



地域課題解決に向けた取組の柱